

令和8年度 事業計画書

公益社団法人 岩出市シルバー人材センター

1. 基本方針と重点目標

少子高齢化の進展に伴い、地域の高齢者が長年培ってきた知識や経験を生かし活躍し続ける社会づくりが重要となるなか、シルバー人材センターに向けられる期待は一層大きなものになってきております。こうした現状を踏まえ当センターでは、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと地域の高齢者が就業を通じて社会貢献できるよう、引き続き各種事業を推進してまいります。

また、当センターにおいても会員の高齢化が進んでおり、今後は、会員の安全確保や健康維持の重要性が更に増すため、安全就業を推進することは無論のこと、シルバー就業を通じて社会参加することが、フレイル（虚弱）予防に効果的との研究結果など自身にとっても有益な情報を周知し、多くの高齢者が長く活躍できるよう支援します。

一方、フリーランス法を受けての契約方法の見直しや、新公益法人制度への移行など、シルバー事業を取り巻く状況は大きな変革期を迎えておりますが、それぞれの課題に柔軟に対処し、センター事業の維持拡大に取り組んでまいります。

[重点目標]

- I 会員の就業機会の確保を図るため、時代や地域ニーズを踏まえながら、請負、委任に基づく事業及び派遣事業の維持・拡大に努めます。
- II 会員の維持拡大とシルバー事業の普及啓発活動に取り組みます。
- III 安全・適正就業の推進に努めます。

2. 事業実施計画

(1) 受託事業の維持拡大

公共機関、民間双方において、高齢者に馴染み、安定就業につながる仕事の受注と開拓に努め、会員の就業機会の確保と提供に積極的に取り組みます。

また、シルバーを取り巻く現状は、雇用環境の変化により以前に増して厳しい情勢ではありますが、創意工夫しながら受注の維持拡大に努めます。

- ① 事業所・企業等の新規開拓や同一事業所内での受託業務の職域拡大
- ② 岩出市役所、他公共機関、商工会との連携
- ③ 役職員一体となった取組の充実強化

(2) 会員の維持拡大と普及啓発活動の展開

事業発展の原動力は会員確保にあるため、広く市民に呼びかけ、女性や企業退職者など働く意欲のある高齢者の加入促進に取り組みます。また、福利厚生事業の充実にも努め、会員の維持拡大を図ります。

- ① 「新たな仲間づくり計画」の推進
- ② チラシ、パンフレット、ポスター等やホームページによる広報啓発
- ③ 「1会員1人紹介運動」の推進
- ④ 広報紙「シルバーいわで」によるPR（年2回発行、7月・1月）
- ⑤ 岩出市広報紙「広報いわで」への募集広告掲載
- ⑥ 岩出市役所やハローワークとの協力連携による広報啓発
- ⑦ イベント時のPRなど多様な手段で幅広く市民に広報・宣伝
- ⑧ 新入会員への説明会開催（原則月1回＋臨時）や随時の相談対応
- ⑨ ポイント付与制度の推進
- ⑩ 地域貢献活動（ボランティア）の取組による普及・啓発

(3) 研修会・講習会等の開催、参加

会員の就業に必要な知識や技術習得のため、講習会や研修会を開催するとともに、関係機関による研修会等にも積極的に参加します。

- ① 会員の健康管理、交通安全等一般研修の開催
- ② 職群別の技能講習等の開催
- ③ シルバー人材センター連合会主催の各種講習会への参加
- ④ 県、市他関係機関主催の研修会等への参加

(4) 安全・適正就業の徹底

会員の安全確保は重要課題であり、会員の高齢化に伴い事故リスクが高まることが危惧される中、ひとり一人の会員の安全意識を高めるため、安全・適正就業委員会の活動を中心に職群と一体となって取組を進めます。具体的には、作業現場における「ご安全に！」等の言葉掛けの日常的な実践や作業前ミーティングの徹底、夏場の熱中症対策の強化等により事故防止につなげます。また、就業途上における交通安全への心掛けについても適宜周知し、会員の安全対策・安全就業に努めます。

- ① 安全・適正就業講習会、研修会の開催
- ② 安全・適正就業に関する情報提供
(ヒヤリハット事例・事故事例、改善事例等の共有化)
- ③ 安全・適正就業委員による就業現場への巡回
- ④ 各種大会(安全就業関係)、研修会等への参加
- ⑤ 就業時の服装、必要備品の整備及び装備

(5) シルバー事業デジタルサイトの活用促進・支援

シルバー事業においても、デジタル化が進むなか、会員ポータルサイト「Smile to Smile」を活用した情報発信を充実し、効率的な運営を図ります。

また、新規登録する際のサポートや、既登録者が操作等に困らないようフォローアップをおこなうなど、引き続き会員のデジタル機器利用を支援します。

(6) 健康、福利厚生事業の推進

会員の健康管理は安全就業の基本であり、自主管理に努めるよう啓発します。また、シルバー就業を通じて社会参加することで、会員の心身の健康維持や生活の質向上につながるよう支援するとともに、福利厚生事業の充実にも努めます。

- ① 親睦旅行の実施
- ② フレンドリーショップ事業の会員への周知及び店舗の拡充
- ③ 定期的な健康診断受診の促進

(7) 学童保育事業の充実

岩出市シルバー人材センター設立以来、市の委託を受け取り組んでいる学童保育事業は、現役世代を支えるとともに幅広く就業機会を提供するうえで重要な事業です。

学童保育の場は、子ども達が学年を横断した仲間とともに楽しく過ごせ、また、子どもを見守る側の会員にとっても活力を得られる場でもあります。引き続き、安心・安全に子どもを見守るため、市役所・警察・消防等の行政機関やその他関係機関と協力連携を図りながら、事業の充実に取り組めます。

- ① 子どもたちの自主的な活動充実のため、子ども会議の実施や子どもが楽しめる運動会・クリスマス会など年間行事を充実
- ② 避難訓練や不審者対応訓練の複数回実施や日常的な点検等安全対策を強化
- ③ 公的機関主催の研修会への参加や独自研修による指導員の資質向上
- ④ 統括マネージャーによる各ホープの巡回指導など保育体制を強化

(8) 諸会議等の開催

- ① 定時総会 年1回 5月
- ② 理事会 原則として月1回開催
- ③ 諸会議の開催
 - 総務委員会 ○広報委員会 ○福利厚生委員会
 - 安全・適正就業委員会

定例委員会	4・6・8・10・12・2 /月
就業現場巡回	必要に応じて随時対応する。
安全講習会	

(9) 関係機関との連携強化

フリーランス法を受けて新たな契約方法への見直し、新公益法人制度への対応など、シルバーを取り巻く状況変化に柔軟に対応するため、和歌山県シルバー人材センター連合会や他シルバーセンターなどと連携を図ります。

(10) 事業目標

会員確保・仕事の受注双方において、センターを取り巻く情勢は厳しくなっていますが、引き続き、契約実績3億円超えを維持できるよう精力的に取り組めます。